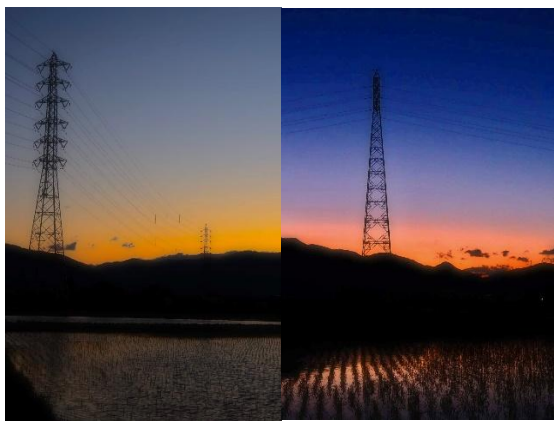
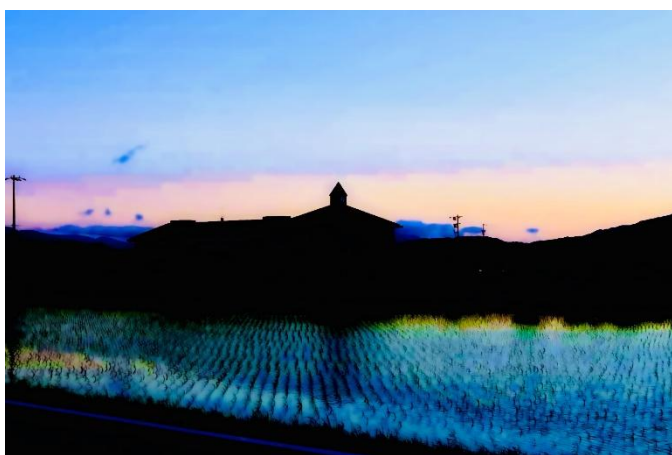


東光寺たより 13

紅白の水蓮が咲きました♪

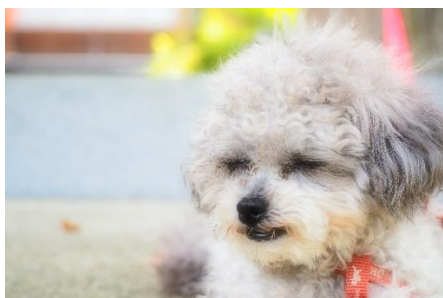
流行り病のおかげで♪

世の中には様々な病が有りますが、皆さんの記憶に新しいところでは塗炭の苦しみを味わった病の時代も有った事でしょう。住職もこの時代は行動制限され何か新しい事出来ないか？と模索し風景写真を撮る事に行きつきました。そして濃尾平野は景色を遮る物が無く夕陽等を撮るには適した地域だと感じ今も撮り続けております。



そうちゃん来て半年経ちました♪

ご存じ当山の看板犬そうちゃんが来て生活スタイルもガラリと変わりました♪これからもお客さんを和ませてくれる事でしょう♪



水蓮も厳かに2色咲いていました。日々の忙しい合間に、ふとこうした日常を切り取ったり風光を愛でるゆとりを持ち合わせていたところですが、なかなか出来ませんね♪ですがこうしてたよりを綴る様になってから季節の移り変わりというものに目を向けれるように気づけるように精進したいものです。



一休み 🐶 一休み 🐶



京都へ (^ ω ^) . . .

京都郊外のとあるお寺さんの一周忌にて竹を
献じた住職♪遷化された和尚さんは住職歴 80
年弱の大先輩で山あり谷ありな人生だったろ
うにと拝察されます。法會に参加された和尚
さんが竹の音が儚くも夢幻の如くだったと述
懐されていたのが印象的でした。加えて参加
された総代さんが何処からともなく聞こえて
くる竹の音が CD とかからではなく実は本物だ
った事に驚いたと後日風の便りで聞き何か不
思議な感覚に襲われた住職でした。尚、山門
に掲げてある額の“萬歳”は”ばんざい”と
お読みするのか(・・?いやいや“ばんぜい”と
読むのだろうと思い現地を後にしました。



新緑の紅葉



床の間のスモークツリー ♪

6月某日 総代会長さんのお宅にて法事が勤まり
床の間の空間に目を奪われた住職。許可を貰
い、構図を決めて撮らせてもらいました。
床の間の傍らの禅語“大道無門”物事の真髄
に至る道に入るに決められた入り口はない、
入る路は無数にある”という意味になりま
す。これは真髄を極めるに、決められた路は
存在せず柔軟な発想で様々に試みて研鑽を積
む姿こそ真髄に至る道なのです。まだまだ道
は遠く果てしない。だが汚れない道であれと
信じてやまない住職でした。

